

動物用医薬品副作用症例報告 (平成17年12月分)

薬事法第77条4の2に基づく動物用医薬品副作用症例報告を次のとおり掲載する。

医薬品の名称 (製造(輸入)業者名)	副作用発現動物					副作用等発現の概要及び転帰						
	種類	性	年齢等	投与前の健康状態・疾患等	関連医薬品の投与歴等	投与量・投与方法	投与年月日	併用薬	副作用発現年月日(投与後時間)	副作用等の種類	講じた処置	転帰
デュラミューン5 (ジステンパー・犬アデノウイルス(2型)感染症・犬パラインフルエンザ・犬パルボウイルス感染症混合生ワクチン) 共立製薬(株) 製造番号：不明	犬 柴犬	雄	3月 齢	不健康	平成17年 11月12日 デュラミュ ーン5 (ペット ショップ にて)	1ml (1バ イア ル), 皮下注 射	平成17年 12月10日	なし	平成17年 12月12日	食欲低下, 発熱 平成17年12月10日, 一般臨床観察において発熱と軽度の発熱が認められていたが, 獣医師の判断により本剤を接種した. 注射2日後の12月12日に元気・食欲減退, 発熱(40.0℃)のため来院した. その後も発熱が継続し, ラクトフェリン, アンピシリンを投与したが, 12月14日(本剤接種4日後)に死亡した.	治療 ラクトフェリン, アンピシリン投与	死亡
<p>《企業の意見及び対応》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当獣医師：当該犬はペットショップにて初回ワクチン接種済みであり, 12月1日に購入後, 今回が初年度2回目のワクチン接種であった。接種時, 軽い咳と発熱を確認していたが, 原因追求やワクチン延期せず接種した。最近, ペットショップにてジステンパーが出た経験から, 今回のワクチン接種以前にペットショップにおいてジステンパーに感染しており, ワクチン接種が発症の引き金になったことも否定できない。 ・企業：獣医師の報告によれば, 本剤接種2日後に異常が認められて来院し, 接種4日後に死亡している。これまでの死亡報告例等と比較しても, 症状や時間的経過からは本剤による副作用とは考えにくい。当該犬は若齢で投与前の健康状態も万全であったとはいえ, 本剤接種の適否の判断が慎重に実施されるべき症例であったと考えられる。 ・対応：使用説明書では発熱・咳または下痢などの臨床異常が認められるものについては, 接種適否の判断を慎重に行うことを注意喚起している。今後も関連安全性情報の収集に努め, 必要に応じて注意喚起等の対応をしたい。 												

家畜衛生週報 (No. 2919) より